



**K & E**  
SDGsへの  
取り組み



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2015年9月国連で採択された「持続可能な開発目標」です。「誰一人取り残さない」という理念のもと、「持続可能な世界を実現する」ことを目指した、2030年を達成期限とする17のゴール、169のターゲット、および、その進展を評価するための指針を持つ包括的な目標です



当社が取り組んでいるSDGs活動についてご紹介します



## すべての人に健康と福祉を

### 社員の健康を守るため

- 1次検診後の2次受診の費用を補助しています
- インフルエンザ予防接種を推進しています



1次健診の様子

### 他にも

- 「安全衛生委員会」「安全パトロール」を月に1回実施し、安全意識の啓蒙や労働災害の未然防止に努めています
- メンタルヘルス不調となることを未然に防止する一次予防として毎年ストレスチェックを行い、メンタルヘルスケアの充実に取り組んでいます
- 誰でも直接相談できるメンタルヘルスの外部相談窓口を設置しています

## 質の高い教育をみんなに



### 教育として

- スキルアップのための社外研修や通信教育の費用を補助しています
- 新入社員研修、教育訓練年間計画を策定し、階層別教育や任意教育を実施しています
- 工場見学を通じ、児童・生徒の皆さんに働くことの意義を考えたり、地元企業や工場を身近に感じてもらう機会となっています





## 安全な水とトイレを世界中に

### 環境整備機器メーカーとして

- 当社で設計・製造する強力吸引車・高圧洗浄車は、日本全国のインフラ整備で活躍しています
- ODAを通じて、途上国でも当社の製品が活躍しています  
操作や整備の現地指導を行っています

ODA(Official Development Assistance) : 政府開発援助



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

## エネルギーをみんなにそしてクリーンに



香り抽出  
マイクロ波抽出装置

- 当社で開発したマイクロ波抽出装置は、廃棄される有価物(果実の残渣等)を再生利用できる装置です

マイクロ波抽出装置についての詳細はこちら

<http://www.kanematsu-eng.jp/product/extraction.html>



## 働きがいも経済成長も

### 働きやすい職場づくりへ

- 2015年高知県ワークライフバランス推進企業に認定されました
- 業績・発展に寄与した従業員には表彰制度があります
- 勤続年数が一定数を超える従業員には表彰制度があります



## 産業と技術革新の基盤をつくろう

- 除染専用の路面清掃車を設計・製造し、東日本大震災の除染作業で活躍しました





## 住み続けられるまちづくりを

### 地元企業として

- 南海トラフ地震対策への支援をおこなっています
- 地域活性化につながる取り組みを支援しています



高知龍馬マラソンを応援しています



## つくる責任つかう責任



### できることから

- 環境負荷低減の梱包材を使用しています
- 廃棄材はリサイクルしています





## 気候変動に具体的な対策を

- 温室効果ガス排出ゼロのEVトラックへ架装した日本初のEV吸引作業車を完成させました
- BCP対策として新工場を建設しました
- エコ（自家用車を利用しない）通勤者には優遇制度があります
- 災害に備えて防災訓練を実施しています



## 陸の豊かさも守ろう

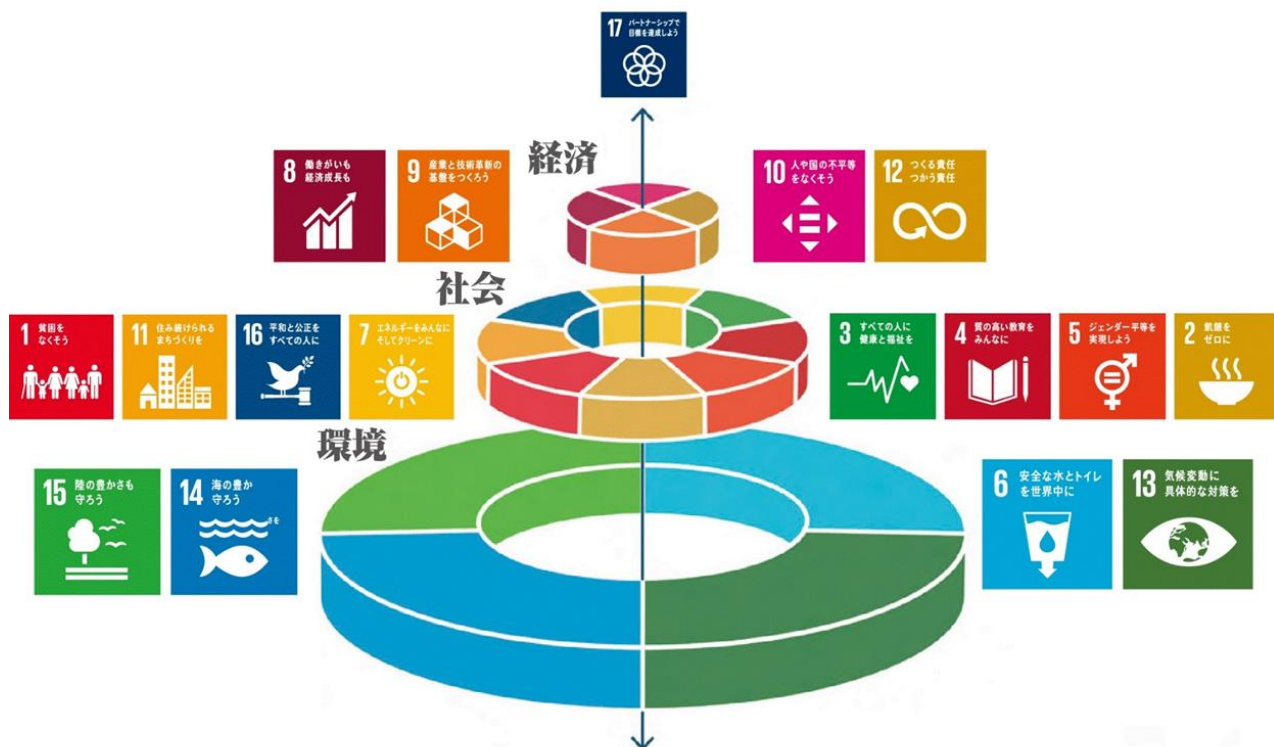
- 製品に使用する塗料をECO塗料に順次切り替えています



# これから取り組んでいくこと

SDGsウェディングケーキモデルは、SDGsの目標17をケーキの頂点として、その下にある3つの階層「経済圏」「社会圏」「生物圏」によって構成されています

この3つの階層の並び方はそれぞれ意味があり、「経済」の発展は、生活や教育などの社会条件によって成り立ち、「社会」は最下層の「生物圏」、つまりは人々が生活するために必要な自然の環境によって支えられていることを表しています



兼松エンジニアリングでは、階層ごとにチームをつくり、それぞれに重点テーマを決めて取り組んでいます



## ECONOMY 経済

「経済圏」は単なる利益を求める成長ではなく、環境や社会にマイナスの影響を与えないことが重要です。持続的な経済の発展を成し遂げなければなりません  
経済チームでは下記に重点を置いて取り組んでいます

1. マイクロ波製品による廃棄物・CO2削減
2. ECO塗料使用率100%へ

13 気候変動に  
具体的な対策を



15 陸の豊かさも  
守ろう



## SOCIETY 社会

「社会圏」は人々の生活基盤となる社会環境の整備を目指す目標が分類されています。「生物圏」の土台があっても、「社会圏」がおろそかではその上の「経済圏」は確立できません

社会チームでは「多様な人材が十分に活躍できる環境の整備」にむけて下記に重点をおいて取り組みます

1. アンコンシャスバイアスについての研修開催
2. 女性職位者割合の引き上げ

4 質の高い教育を  
みんなに



5 ジェンダー平等を  
実現しよう



8 働きがいも  
経済成長も



10 人や国の不平等  
をなくそう



## BIOSPHERE 環境

私たちの生活の基盤となる自然環境は、人類の歴史の中で常に技術的・文化的発展の土台となってきました。「自然環境」の土台が崩れれば、その上に成り立つ「社会」「経済」は支えられません

持続的な発展のためには土台となる「自然環境」を整えることが重要です  
環境チームでは下記に重点を置いて取り組みます

1. ペーパーレスの推進

14 海の豊かさも  
守ろう



15 陸の豊かさも  
守ろう

